

いわ☆ぴかで火災発生

充電池の間違った分別が大事故につながります

4月に続き、9月14日午後2時ごろ、市のごみ処理施設「いわみざわ環境クリーンプラザ（いわ☆ぴか）」で消防が出動する火災が発生しました。幸いにも施設への被害はありませんでしたが、約3時間30分の間、ごみ処理を停止することになりました。火災の原因は、充電池が大型ごみに混入し、切断された際に発火したものと推測されます。

施設で火災が発生するとごみの処理ができなくなるため、ごみステーションから収集ができず、ごみの自己搬入も断わらなければなりません。また、火災によりごみ処理施設に被害が生じると、修理する費用が必要となります。

リチウムイオン電池などの充電池は、破損や変形により発熱・発火するため、適正に排出しないと大事故につながる恐れがあります。実際に全国のごみ処理施設で火災が多発しています。

いわ☆ぴかでも、月に1回程度小規模な発火が確認されており、その都度消火に当たっています。

火災により白煙がごみピット内に充満している様子



市が行っている事故防止策

- ごみ処理施設に放水銃を設置しています
- ごみステーションで充電池の分別収集をしています
- 燃やせないごみや大型ごみを処理機に投入する前に目視で確認し、充電池を取り外しています

充電池は危険ごみ！

ごみ処理施設で対策をしても、事故を完全に防ぐことは困難です。一番効果があるのは、ごみを正しく分別することです。ごみを出す前に、分別が間違っていないか必ず確認してください。

充電池の出し方

- 電極部分を絶縁する（電極同士の接触による発火を防ぐ）
- 中身の見える透明または半透明の袋に入れ、月1回の危険ごみの収集日に出す
- 充電池以外の品目を入れない（スプレー缶やライターなどと別の袋で出す）
- 大きさが20センチメートルを超えるものはクリーンエコ（3西4）へ

金属端子部分をビニールテープなどで覆う



こんなところに使われています



電動工具



カメラ



モバイルバッテリー



電子たばこ

充電池を取り外すことが困難な場合は、そのまま危険ごみとして出してください